

特集
まちづくりの
現場から

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。
今月は、「都市との交流事業」の現場からお届けします。

上毛町の グリーンツーリズム 〜農を活かし都市との交流〜

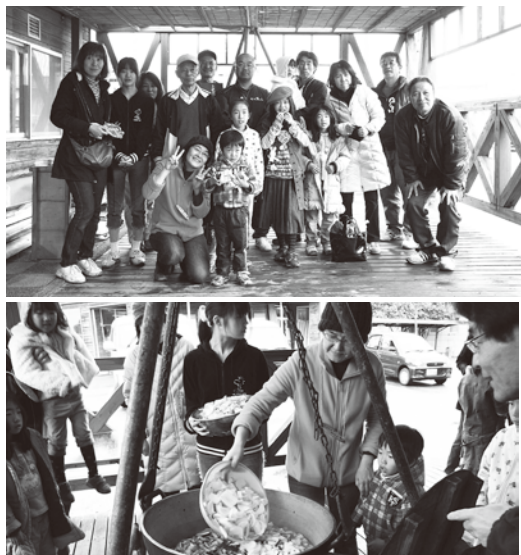


都市との交流の 取り組み

〜里山民泊モニターツアーの開催〜

上毛町では、グリーンツーリズムの初めての試みとして、平成23年3月友枝地区において一泊二日の里山民泊モニターツアーを開催しました。ツアーに参加したのは、4家族12名で、いずれも福岡市近郊にお住まいの「上毛町は初めてです」という方々でした。受け入れ家庭の皆さんと一緒に、川魚の甘露煮づくりをはじめ、椎茸や野菜の収穫体験、炭焼体験、木工体験、町のイベント時の人気グルメ「上毛汁(イノシシ入り)」づくりなどたくさんの方との交流を行いました。

参加者からは、「自然にふれ、動物にふれ、普段と違う生活が体験できて良かった」「田舎の温かさを実感した」などの感想をいただき、大好評でした。中には、「将来、娘を上毛町に嫁がせます」と言い切ったお母さんもいました。



〜有田地区グリーンツーリズム研究会発足〜

里山民泊モニターツアーの実践などを通して、受け入れ家庭からは、「外部の人が訪れるのは新鮮で地域に新しい風が吹いた感じがする」、「遠い親戚ができた印象」などの感想がありました。また、「地域にいる人材を活用しながら体験メニューを組み立てていきたい」などグリーンツーリズムに対する気運は一気に高まってきました。

地元の資源を最大限に活用したおもてなしをするためには、「都市と農村の交流」のノウハウを地域が一体となって研究していく必要があります。

平成23年5月に東上有田地区の皆さんが中心となり、「有田地区グリーンツーリズム研究会」を発足し、行橋農林事務所農山村振興課の職員を招いて、グリーンツーリズムの基礎を学ぶなど研究を重ねてきました。

3月3、4日には「農村民泊モニターツアー2012」が開催されます。福岡市や北九州市近郊などの都市部から11組30名の方が有田地区に訪れ、農業体験や炭焼き体験、郷土料理づくりなど地域資源を活かしたメニューを体験する予定です。また、果雁山(459m)山頂を目指し、自然散策をするなど有田の自然を満喫してもらいます。果雁山山頂から眺める上毛町・周防灘へ続く景色は絶景です。たくさんの方に足を運んでいただけるよう、登山道を整備するなど、現在その準備に追われています。

3月29、30日には、福岡県(京築連帯アミニティ都市圏推進会議※)が主催で、京築の観光名所を巡るモニターツアーが開催され、5組20名の方が有田地区で宿泊し、農業体験などを行う予定です。

都市住民の農村地域に対する関心は、今後もさらに高まると予測されるため、研究会では、今後もこの豊かで落ち着いたある田園風景を最大限に活かした都市住民との交流活動を積極的に、地域の発展・活性化に取り組みます。

※京築連帯アミニティ都市圏推進会議

福岡県と京築7市町で構成され、京築地域の一体的な発展のため、広域的な事業を行っています。

●問い合わせ先
産業振興課 農政係 TEL723111(内線182)

都市と農村をつなげて 農村活性化

近年、テレビや雑誌などで、農業体験や田舎暮らし、ご当地グルメなどの特集が組まれることが多くなりました。自然の中で農作業を体験したり、地域の人々との交流を楽しめるツアーが注目されています。また、平成19年以降団塊の世代の退職者が増大する中で、田舎暮らしにあらがれや安らぎを求めている移住や二地域居住などの新たなライフスタイルも注目されています。

一方、受け入れ先となる農山村に目を向けると、高齢化や過疎化による農林漁業の停滞、農地などの荒廃が目立ち始めています。農林水産省の「農林業センサス」によると、平成22年、わが国で農業に従事する人は、約261万人。平成17年の約335万人からわずか5年で約74万人減少しています。上毛町でも農業に従事する人の平均年齢は、平成22年で59.3歳と高齢化も深刻で、地域活力の低下までも懸念されています。

こうしたことを背景に、上毛町第1次総合計画では、山間部の観光資源、自然を活かしたグリーンツーリズム※などの都市と農山村の交流活動を活性化し、「観光客の誘致」を推進し、地域の活性化を図ることを目標としています。

グリーンツーリズムは、都市住民にとっては「ゆとり」や「やすらぎ」を享受できる絶好の機会となります。過疎・高齢化の進行に悩む地域にとっては、長年にわたり受け継がれてきた農業や自然、文化、歴史、人材などの優れた地域資源を活かし、活性化を図る機会になります。また、都市住民とふれあうことは、地域に対する誇り、自信、愛着を醸成し、地域コミュニティを再生する機会にもなり、新たな地域づくり活動のきっかけとなる可能性を秘めています。

※グリーンツーリズムは緑豊かな農山村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。
グリーンツーリズムの基本は、都市と農山村の住民同士の交流。



○有田グリーンツーリズム研究会とサポーターのみなさん

有田グリーンツーリズム研究会

- 会長:小川清美
- 副会長:高橋誠
- 事務局長:山本盛文
- 事務局次長:中尾健
- 会計:奥雅樹
- 監事:川上実 中野徳三

